

令和5年春期 六浦西地区推進連絡会要旨

1 日時

令和5年3月3日（金）18：30～20：15

2 場所

六浦地区センター 多目的室

3 参加者

（地域側）社協定例会メンバー 21名
（支援チーム、その他行政側）
区役所 8名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 4名

計 33名

4 内容

（1）開会のあいさつ

（六浦西地区社会福祉協議会・町内会連合会 会長）

（2）地区支援チームから挨拶

（3）出席者自己紹介

出席者名簿をもとに自己紹介

（4）令和5年度区づくり推進費等の説明

ア 令和5年度金沢区予算案について説明

イ 令和5年度金沢区内の各局主要事業について説明

（5）意見交換

「コロナ過を経て、地域活動を考える

～こんなときこそつながろう！このまちとこのまちのひとたちと～」

○コロナ過においてどこまで出来るのかを議論したうえで出来るところまでやろうと活動してきた。そのなかで人のつながりが変わったと感じている。自治会活動もラインを使うようにコミュニケーションもラインでやりとりしているが、活字だけの伝達だと真意が伝わらないことが多くなった。

○コロナ過でも、今を大事にしていこうと考え参加者が密にならないように活動できる場所を探して活動を続けられたことはとてもよかった。活動内容を文書やメール、ラインで伝えるより、会って伝えた方が伝わりやすいことがこの3年で実感できた。これからも伝える工夫が必要だと考えている。

○コロナ過後、一番問題になるのが行事を開催するにあたって段取りをどうするのか、行事を実施していないので知らない人が増えている。不安はあるが出来るだけ行事は開催して行きたい。

○段々と「with コロナ」の流れになっていて、今年度はいろいろな地域の活動が再開される気運が高まっており大変ありがたく思っている。

○コロナでよかったことは IT の技術が進歩したことだ。今後もこの状況は続いていくと思う。今後は IT 技術を活用したコミュニケーションを工夫していきたい。

○コロナをポジティブに考えると皆さんが、何が必要か真剣に考える機会になった。行事ができないなかで「子供たちが楽しむことをやろう」と真剣に考え必要なことが何か見つめ直す機会になった。

○いままで当たり前前にできたい行事ができなくなり、この3年間大変だったが、工夫して行事を実施しこどもたちの笑顔や歓声をもらい感無量だった。自治会、町内会が横のつながりを持ちながら、お互いが楽しく過ごせるようにしていきたい。

(6) 金沢区地域福祉保健計画地区別計画の振り返りについて

行事を実施するうえで一番大事なことは安全面だと思っており、十分に配慮する必要がある。今後は何が必要でどうゆうことやらなければならないのか真剣に考え、こどもからお年寄りまで楽しめる地域にしていきたい。

(7) 閉会のあいさつ

(六浦西地区社会福祉協議会・町内会連合会 副会長)